NEXTEC

防災ラジオ

NX-W109RD

取扱説明書

このたび*NEXTEC* 製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に、再度お読みください。

この製品は日本国内専用機器ですので外国では使用出来ません。

株式会社　エフ・アール・シー

目次

本機の特徴 ---------- 4

安全についてのお願いとご注意 ---------- 4

危険 ---------- 5

警告 ---------- 5

注意 ---------- 5

免責事項 ---------- 6

ご使用の前に ---------- 7

付属品を確認する ---------- 7

ご使用前の準備 ---------- 9

設置 ---------- 11

本体を設置 ---------- 11

緊急放送を受信した場合 ---------- 11

確実に受信するために ---------- 12

各部の名称 ---------- 13

外観 ---------- 13

LCD（液晶ディスプレイ） ---------- 14

基本設定 ---------- 15

地域の設定 ---------- 15

NHK-FM局の設定 ---------- 16

同報系防災行政無線の設定 ---------- 16

時刻の設定 ---------- 17

設定が終わったら ---------- 18

使いこなし ---------- 19

音量の設定 ---------- 19
FMラジオとして使う ---------- 20
防災行政無線受信機として使う ---------- 21
防災行政無線の受信音量 ---------- 22
防災行政無線監視周波数の変更 ---------- 23

その他の便利な機能 ---------- 24

非常灯として使う ---------- 24
非常用アラームとして使う ---------- 24
自動的に電源を切る ---------- 25
キーロック ---------- 26
操作音を消す ---------- 27
バッテリーセーブ機能 ---------- 27
時計表示 ---------- 28
電池残量警告 ---------- 28
設定を工場出荷状態に戻す ---------- 29

故障かなと思ったら ---------- 29

症状による確認項目 ---------- 29

おもな仕様 ---------- 30

一般規格 ---------- 30
保証規定 ---------- 31
保証書 ---------- 32

本機の特徴

本機は同報系防災行政無線（アナログ放送）の受信、NHK-FMラジオ放送の緊急警報放送（第1種、第2種）および緊急地震速報の常時監視機能をもつ防災無線受信機です。これら災害情報のいずれかの警報を検出した場合、その緊急放送の受信を開始します。

- 同報系防災行政無線の常時監視
- 緊急地震速報、緊急津波速報、緊急警報放送対応
- 緊急速報、警報信号の受信をLEDと音で知らせます
- リチウムイオン電池により停電時にも受信可能
- LEDライトを搭載しており、緊急時に非常灯としても使用可能
- サイレン
- FMラジオモード
- 同報系防災行政無線受信モード
- 時計機能（自動時刻合わせ対応）

ご注意

表示マークについて

本機を使用する際に、人体や財産に危害や損害を及ぼすことを未然に防ぎ安全に使用していただくため、重要な内容を記載しています。
ご使用にあたり次の内容をよく理解していただくために表示マークと本文をよくお読みの上、正しくご使用ください。

⚠	危険	人体が死亡もしくは重症を負いかねない危険が明らかに生じることを想定される内容。
⚠	警告	人体が死亡もしくは重症を負いかねないことが生じることを想定される内容。
⚠	注意	人体が障害を負いかねなく、物的障害の発生を想定される内容。

⚠ 危険

- 本機の使用にあたり、付属の電池以外の電池は使用しないで下さい。発火、発熱、破損の原因になります。
- 付属の充電器以外での充電は行わないで下さい。発火、発熱、破損の原因になります。
- 充電は５℃～４０℃の範囲で行ってください。
- 火中に投入、分解、改造はしないでください。
- 電池が液漏れを起こしたときは、使用をやめてください。
- 液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚に付着した時は、きれいな水で洗い流してください。

⚠ 警告

- 充電は、AC 100V以外では行わないでください。
- 濡れた手でACアダプターに触れたり、電源コードに触れたりしないでください。感電の恐れがあります。
- 直射日光を避け、風通しの良い状態でご使用ください。
- 湿度の高い環境でのご使用はおやめください。
- 機器を雨水などにさらされないようご注意ください。
- 落下などにより破損したり正しく動作していないときはご使用をお控えください。
- 使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外し、お買い求めいただいた販売店または弊社までご連絡ください。

⚠ 注意

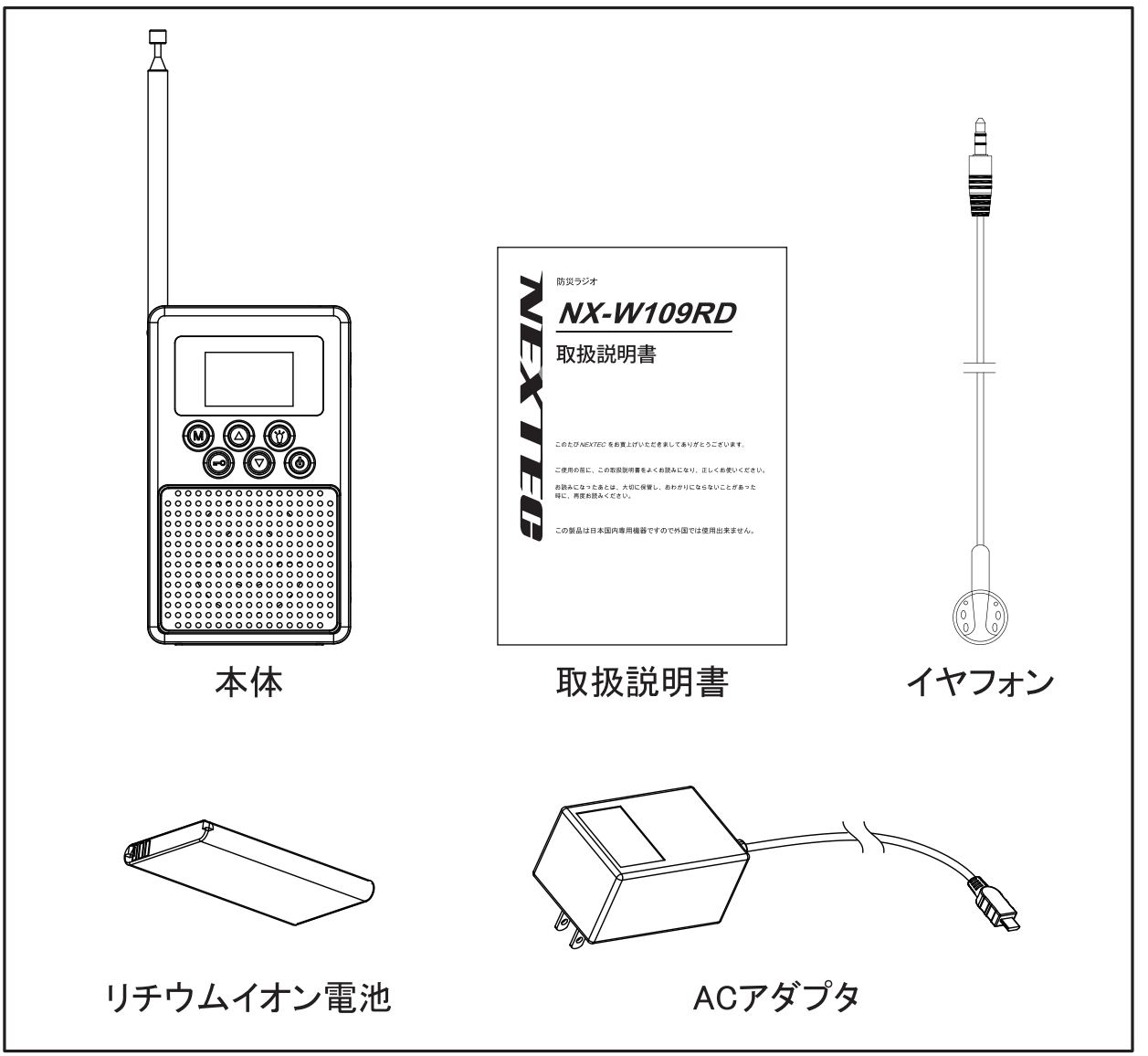
- 緊急放送、同報無線を受信した場合、身の安全を確保し行動してください。
- 地震速報は震源地からの距離によっては、揺れが発生してから放送される場合があります。
- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどの電気機器の近くで運用しないでください。
- 車内のダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないでください。
- アンテナは先端が細くなっています。誤って目にさしたりしないよう注意してご使用ください。
- 長時間使用しないときは、充電器、電池を外して保管してください。
- 本機の汚れが酷い時は、水で薄めた中性洗剤を染みこませた柔らかい布で軽く拭きとってください。シンナーやベンジンなどの薬品はご使用になれません。

免責事項

- 本機は同報系防災行政無線、緊急地震速報、緊急警報放送を受信してそれを知らせるものであり、地震や災害の被害等を回避、軽減するものではありません。
- 本機の不具合や故障、または誤った設置や操作等によって万が一、同報系防災行政無線・緊急地震速報・緊急警報放送の受信や警告機能が動作できなくなった場合、地震等の災害などにより生じた被害や損害に対して保証するものではありません。

ご使用の前に

付属品の確認



＜付属品＞

- 本体
- ACアダプタ
- リチウムイオン電池
- 取扱説明書
- イヤフォン

使用時間のめやす（携帯運用時）:

種類	使用時間
監視モード（警報＋防災）	約25時間
監視モード（警報のみ）	約30時間

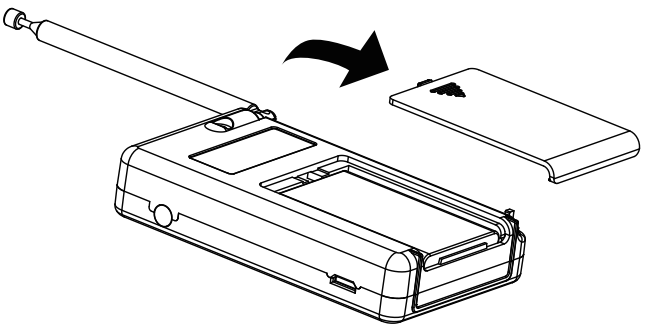
充電時間のめやす:

種類	充電時間
監視モード（警報のみ）	約5時間

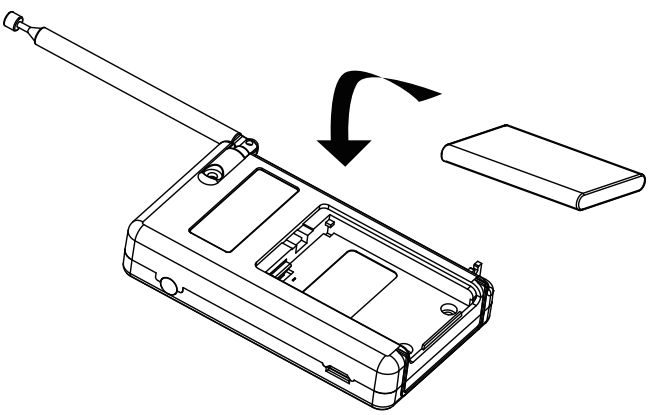
（注）
- FMラジオモードや防災無線受信モードで運用の場合、同報系防災行政無線の監視を行わない場合運用時間や充電時間は変わります。
- 使用時間は付属の電池を満充電した状態からの時間（目安）です。
- 電池は消耗品です。充放電を繰り返すと運用時間は短くなります。

■電池を入れる

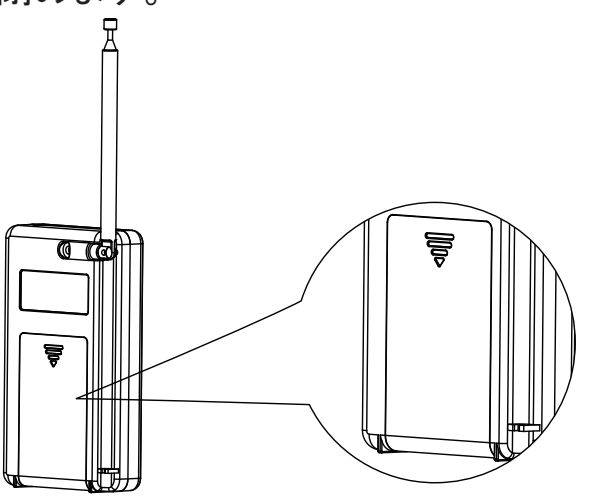
1. 電池カバーを取り外します。



2. 電池の電極に注意して電池を挿入します。

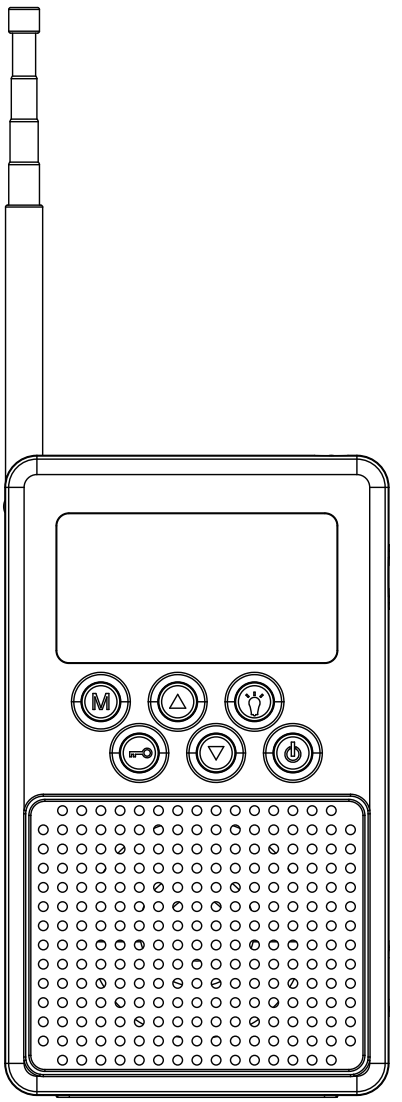


3. 電池カバーを閉めます。



■アンテナの取り扱い

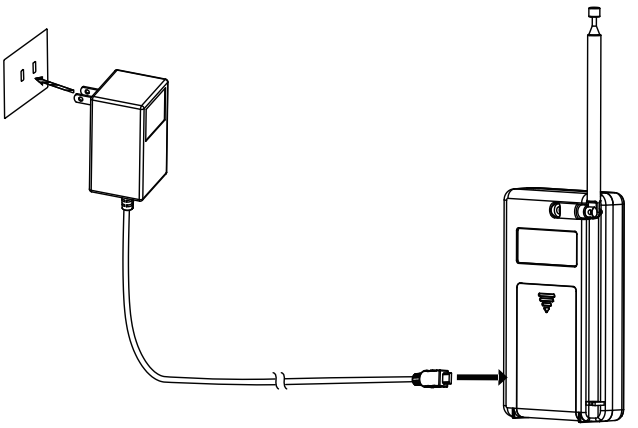
使用するときは、電波を良好に受信できる角度にし、アンテナをなるべく垂直に立ててご使用ください。



設置

本体を設置

・ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに接続します。
・USB電源ケーブル側のコネクタを本体に差し込みます。
・ACアダプタと本体を接続すると自動的に充電が開始されます。
・充電中は本体表示部の電池マークが充電中の表示をします。



（注）
・本体に付属しているACアダプタ以外は使用しないでください。故障の原因となります。
・家庭用電源はAC 100Vをご使用ください。
・長時間使用しないときは、内蔵している電池を外して保管してください。
・電池を内蔵したまま長期間放置すると、電池の液漏れなどにより故障の原因となることがあります。

緊急放送を受信した場合

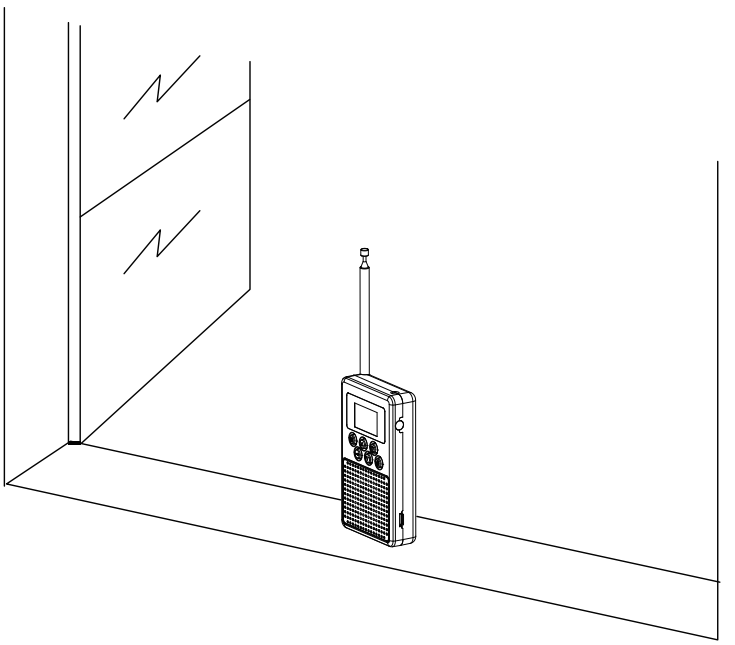
本機が同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報などの緊急放送を受信した場合、白色LEDが点滅を開始すると共に、受信した緊急放送がスピーカーから出力されます。

ヒント！
同報系防災行政無線を受信した時は放送がなくなるまで受信が継続します。放送受信中にキー操作をすると音量の調整、周波数の変更等が可能です。緊急警報放送、緊急地震速報を受信したときは、3分間受信が継続した後受信をする前の状態に戻ります。3分以内にキーなどを操作すると、NHK-FM放送を継続して聞くことができます。

確実に受信するために

本機の設置場所は、同報系防災行政無線やFMラジオが良好に受信できる場所に設置してください。

ご家庭内に設置される場合、窓際等のFM電波が良好に受信できる場所に設置して下さい。

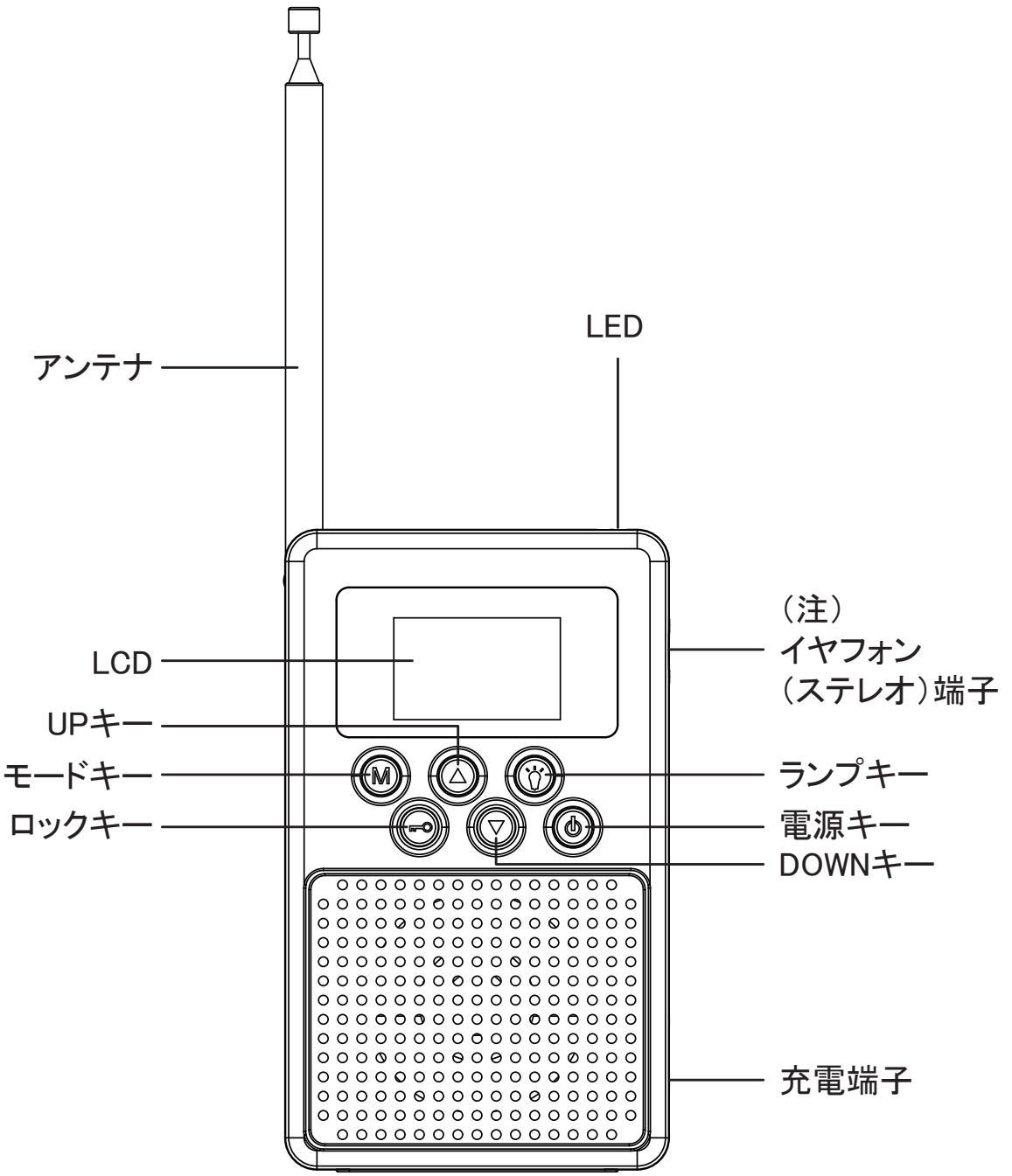


（注）

- 近くに電気機器や電子機器の配線などがある場合、電磁波の干渉により良好に受信できない場合があります。
- 充電用ACアダプターやACアダプターのケーブルの位置により受信に影響が出る場合は、設置位置をずらしてFMラジオや防災行政無線が良好に受信できる場所に設置して下さい。
- お手持ちのUSB電源をご使用になる場合、電源からのノイズで受信感度が悪化する場合があります。
- イヤフォンをご使用の場合、イヤフォンケーブルの位置により受信感度が悪化することがあります。

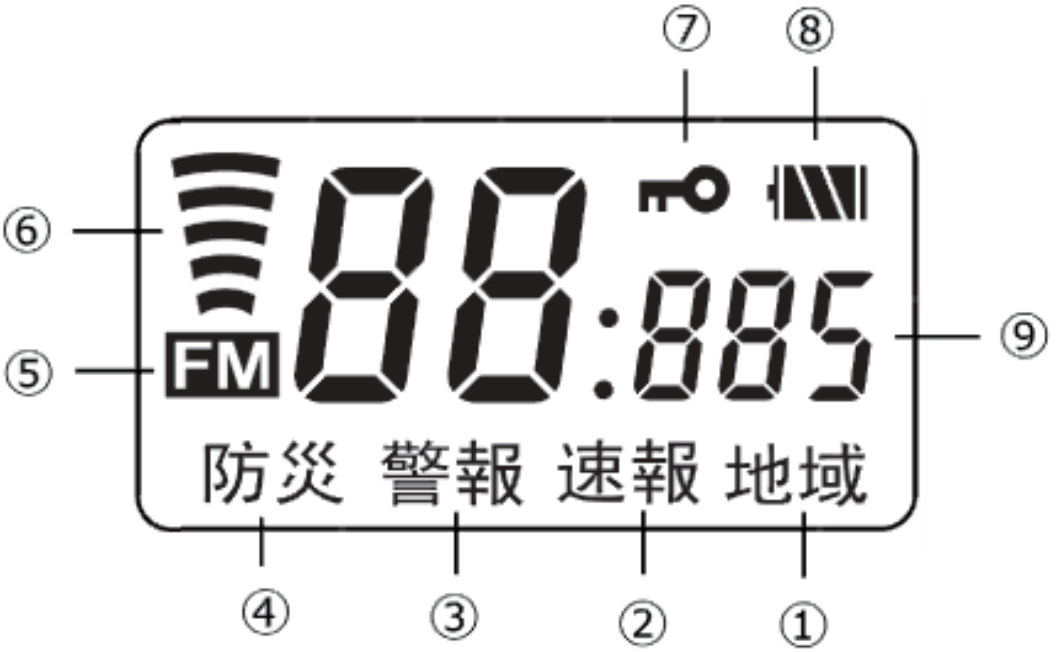
各部の名称

外観



（注）
付属の専用イヤフォンをご使用ください。モノラルイヤフォンは使用できません。ステレオイヤフォンを使用すると、片側のみ音声が出力されます。

LCD（液晶ディスプレイ）



1. NHK-FM局地域選択時
2. 緊急地震速報受信時
3. NHK-FM設定時及び緊急警報放送受信時
4. 同報系防災行政無線設定及び受信時
5. FMラジオモード
6. NHK-FM局信号強度表示
7. キーロック機能表示
8. 電池残量表示
9. 周波数、時計、機能表示等

基本設定

同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報を正しく受信するために、予め同報系防災行政無線とNHK-FM局の受信周波数を設定する必要があります。基本設定では同報系防災行政無線の周波数、NHK-FM局、時刻の設定を行います。

地域の設定

地域の設定を行うと、お住まいの都道府県のNHK-FM局をメモリーから選択できます。

● Modeキーを押しながら電源を入れます。

●“地域”が点滅している間にUP/DOWNキーで地域の選択をします。

● Modeキーを押すと、指定地域のNHK局自動で探すためスキャンが開始されます。

地域一覧

番号	地域	番号	地域	番号	地域	番号	地域	番号	地域
01	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
02	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
03	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
04	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
05	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
06	山形県	16	山梨県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
07	福島県	17	長野県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
08	茨城県	18	富山県	28	兵庫県	38	愛媛県		
09	栃木県	19	石川県	29	奈良県	39	高知県		
10	群馬県	20	福井県	30	和歌山県	40	福岡県		

ヒント！
近隣都道府県のNHK-FM局が明瞭に受信できる場合、そのNHK-FM放送局のある都道府県を選択するか、地域の設定はOFFを選択してください。地域をOFFに設定するとNHK-FM局の周波数が直接選択可能になります。

NHK-FM局の設定

● “警報”が点滅中にUP/DOWNキーを押してNHK-FM局の周波数を選択します。
（スキャン中でもUP/DOWNキーを押すと、設定した地域で使用されているNHK-FM局が選択できます）

●Modeキーを押してNHK-FM局の確定します。

（注）
● FMラジオの電波は信号強度レベルメータで確認することができます。緊急警報放送や緊急地震速報が検出できる良好な受信状態のときはレベルメータが2個以上点灯します。
● 地域によって選択できる周波数が異なります。
● 隣接地域のNHK-FMが良好に受信できる場合、再度地域の設定から行なってください。
● 良好に受信できるNHK-FM局の周波数が予めわかっている場合、地域設定をOFにすると周波数を手動で合わせることができます。

同報系防災行政無線の設定

予めお住いの地域で使用される同報系防災行政無線の周波数をご確認ください。

1	68.205MHz	11	68.580MHz	21	68.880MHz	31	69.255MHz	41	69.735MHz
2	68.220MHz	12	68.595MHz	22	68.895MHz	32	69.405MHz	42	69.750MHz
3	68.280MHz	13	68.610MHz	23	69.090MHz	33	69.420MHz	43	69.765MHz
4	68.295MHz	14	68.680MHz	24	69.105MHz	34	69.435MHz		
5	68.415MHz	15	68.695MHz	25	69.120MHz	35	69.450MHz		
6	68.505MHz	16	68.805MHz	26	69.135MHz	36	69.465MHz		
7	68.520MHz	17	68.820MHz	27	69.150MHz	37	69.480MHz		
8	68.535MHz	18	68.835MHz	28	69.165MHz	38	69.495MHz		
9	68.550MHz	19	68.850MHz	29	69.180MHz	39	69.705MHz		
10	68.565MHz	20	68.865MHz	30	69.195MHz	40	69.720MHz		

NHK-FM局の設定が終了後、同報系防災行政無線の周波数設定をします。

● “防災”が点滅している間にUP/DOWNキーで周波数を選択します。

● お住まいの近くにアナログ同報系防災行政無線がない場合”OF”を選択します。

● Modeキーを押して周波数の確定をします。

時刻の設定

● 時間が点滅中にUP/DOWNキーを押して時間を設定し、Modeキーを押します。

●分が点滅中にUP/DOWNキーを押して分を設定し、Modeキーを押します。

ヒント！
UP/DOWNキーを長く押し続けると時間や分が早く変化します！
●一度正しく時刻設定した後NHK-FM局が良好に受信出来れば、以降の時刻設定は自動的におこなわれます（午前0時、時報受信時に誤差±5分以内の場合）。

設定が終わったら

本機は電源の状態にかかわらず、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視を開始します。
これら緊急放送の監視中、電波が常に良好に受信していることをご確認ください。
電波の受信状態が悪い場合、信号レベルメーターが点滅をしますので、設置場所を変更して電波を良好に受信できるようにしてください。

ヒント！
同報系防災行政無線は不定期に送信されるため、同報系防災行政無線が受信できないときは、NHK-FM局を聞きながら本機をNHK-FM局が良好に受信できる場所に設置してください。

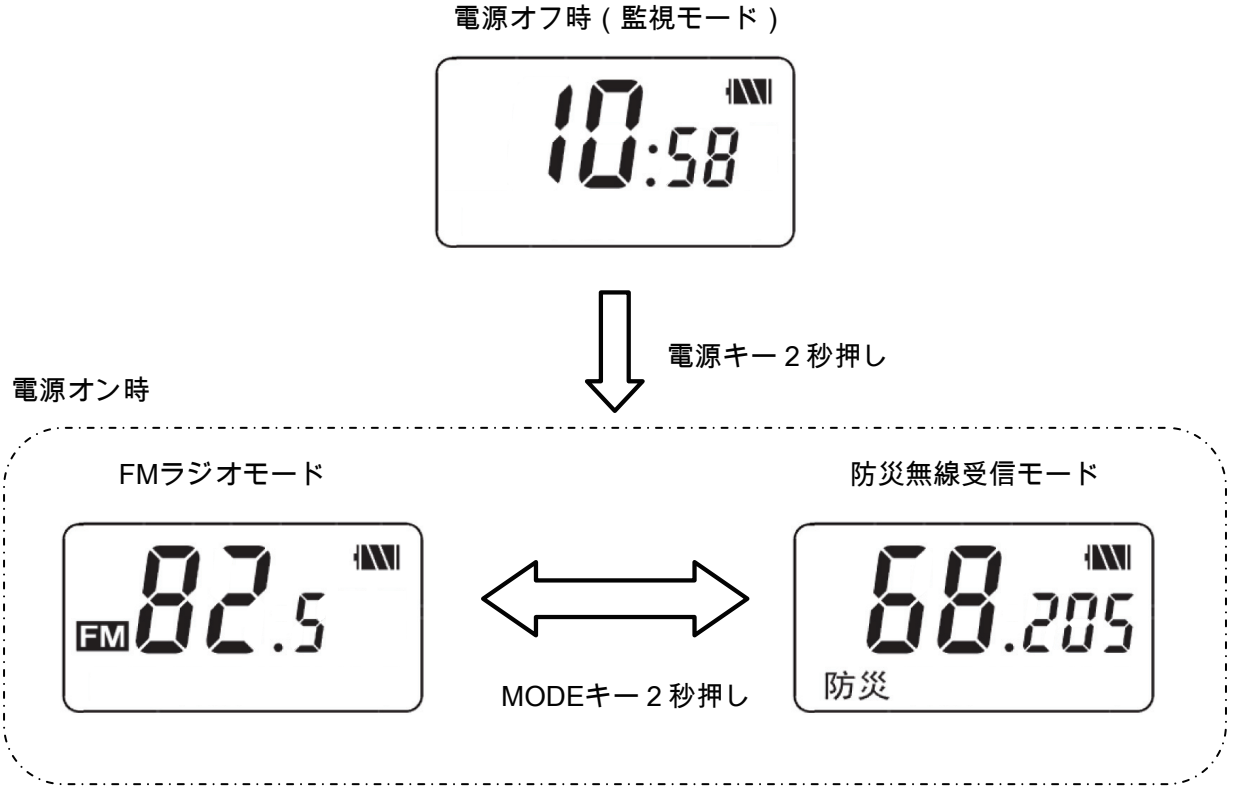
緊急警報放送の試験信号受信時

NHK-FM放送局では、毎月１日の正午前に緊急警報放送の試験電波が送信されています。本機が試験電波を正常に受信すると「TEST」と表示されます。この状態で操作が何もない状態が3分経過すると、もとの表示に戻ります。

本機は、緊急警報放送の「試験電波」受信では、受信音声は聞こえません。
本機は、緊急警報放送の「本放送電波」受信では、受信音声は聞こえます。

使いこなし

本機は電源が入っていない時、緊急放送を受信するための監視モードで動作しています。
電源が入ると、FMラジオまたは同報無線受信機として使用することができます。



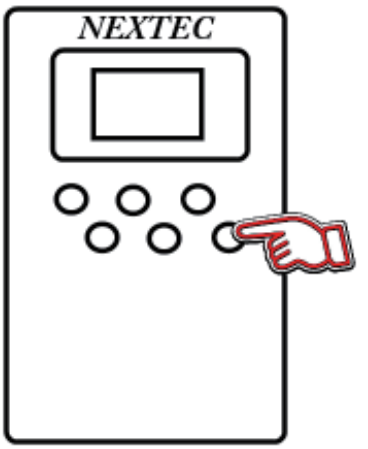
音量の設定

電源が入っている時（FMラジオモードまたは防災無線受信モード）に、聴きやすいよう適切な音量に設定できます。
1. UP/DOWNキーを押すと"LE"と現在の音量レベルが表示されます。

2. 音量レベルが点滅している間にUP/DOWNキーで音量を設定してロックキーを押します。

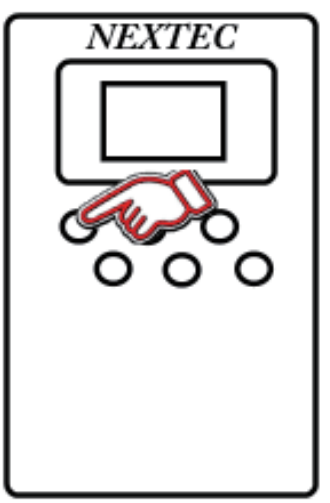
FMラジオとして使う

1．電源を入れる
電源キーを2秒以上押し続けると本体の電源が入ります。



2．モードをFMラジオモードにする
FMラジオモードはFMラジオの周波数が表示され、FMアイコンが点灯します。

防災行政無線受信モードになっているときはMODEキーを2秒以上押すとFMラジオモードに切り替わります。

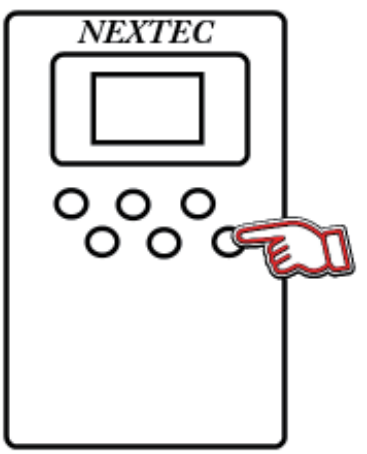


3．周波数を合わせる
Modeキーを押して周波数が点滅している間にUP/DOWNキーを押して聞きたいFMラジオ局に合わせる。
周波数が点滅している間にUPまたはDOWNキーを長押しすると受信できるFMラジオ局をサーチします。

FMラジオを受信中でも、同報系防災行政無線、緊急警報放送および緊急地震速報の監視していますので、これらの緊急放送を受信した場合、緊急放送に自動的に切り替わります。

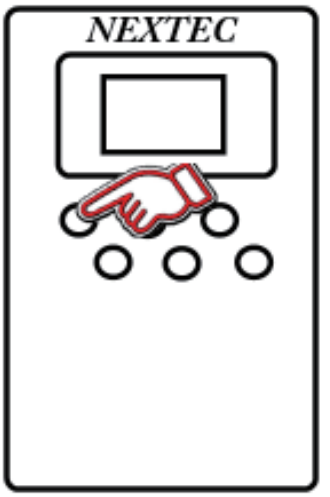
防災行政無線受信機として使う

1．電源を入れる
電源キーを2秒以上押し続けると本体の電源が入ります。



2．防災行政無線受信モードにする
防災行政無線受信モードでは、防災アイコンが点灯し、防災行政無線の受信周波数が表示されます。

FMラジオモードになっているときは、MODEキーを2秒以上押し続けると防災行政無線受信モードに切り替わります。



防災行政無線受信モードでもNHK-FM局の緊急警報放送および緊急地震速報の監視していますので、これらの緊急放送を受信した場合、緊急放送に自動的に切り替わります。

防災行政無線の受信音量

防災行政無線を受信した時に受信を知らせるために最大音量で鳴らすことができます。
（工場出荷状態では現在設定されている音量ボリュームで鳴ります。）

1．MODEキーを押してdSを表示します。
2．UP/DOWNキーで"dS.on"を選択してロックキーを押します。

防災行政無線の受信音量をボリュームに連動させるためには"dS.oF"に設定して下さい。

防災行政無線監視周波数の変更

防災行政無線の監視モードの周波数は基本設定で行えますが、防災行政無線受信モードで運用中の周波数を監視モードの周波数として変更することができます。
工場出荷時には、防災行政無線受信モードで周波数を変更しても、監視モードの周波数は変更されない設定になっています。

1. MODEキーを押してddを表示します。
2. UP/DOWNキーで"dd.on"を選択してロックキーを押します。

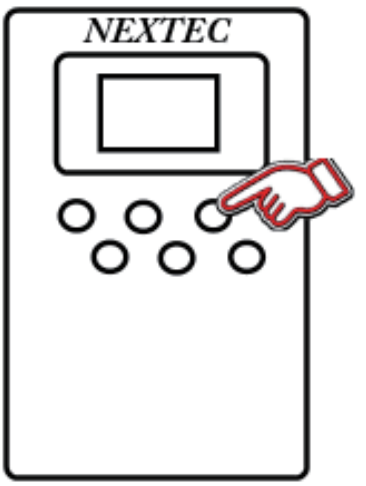
（注）
防災行政無線モードで周波数を変更しても、監視用周波数を変更したくない場合は"dd.oF"に設定して下さい。

その他の便利な機能

非常灯として使う

本体上部に搭載している高輝度LEDを使用して、非常時の一時的なライトとして、または非常用点滅ライトとして使用することができます。
非常灯LED は本体電源のON/OFF にかかわりなく操作が行えます。

1. 非常用点滅ライト
ランプキーを2秒間押し続けると、本体上部のLEDが点滅を開始します。



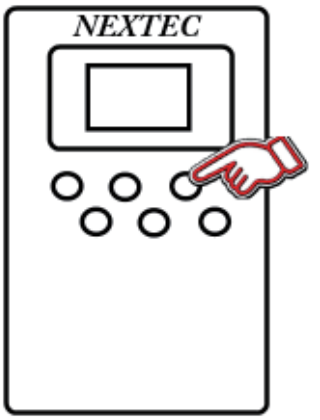
2. 非常用LEDライト
LEDが点滅状態（非常用点滅ライトがON）の時にランプキーを押すと。LEDが点灯に変わります。

3. 消灯
LEDが点灯状態の時にさらにランプキーを押すと、LEDが消灯します。

非常用アラームとして使う

非常用の大音量アラームで周りに非常事態であることを知らせることができます。
大音量アラームは本体電源のON/OFF にかかわりなく操作が行えます。

1. 非常用アラーム開始
ランプキーを3秒以上押し続けるとスピーカーから大音量のアラーム音が鳴り出すと同時に、LEDが点滅を開始します。



2. 非常用アラームを止める
アラームが鳴っている時に、ランプキーを押すとアラーム音が鳴り止み、LEDが点灯します。

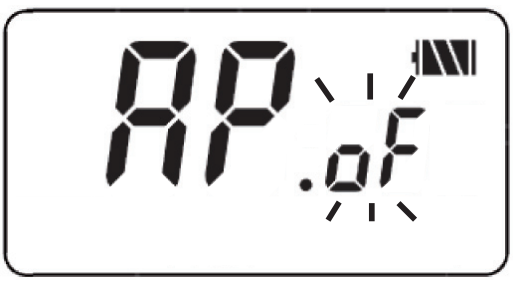
3. 消灯
LEDが点灯状態の時にさらにランプキーを押すと、LEDが消灯します。

非常用アラームを使用しない場合、機能を無効にすることができます。
MODEキーを押して"AL"を表示させ、UP/DOWNキーでOFFを選択してロックキーを押すと機能を無効にすることができます。

自動的に電源を切る

設定した時間になると自動的に電源が切れます。

電源の切り忘れを防止し電池の消耗を抑える機能です。
1. MODEキーを押してAPを点灯させます。



2. UP/DOWNキーで時間を設定します。

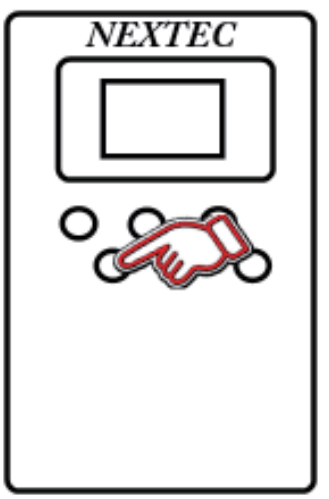
3. ロックキーを押すと確定されます。

（注）
APOがOF以外に設定された場合、設定された時間（1～5時間）が経過すると電源が切れて監視モードへ自動的に移行します。

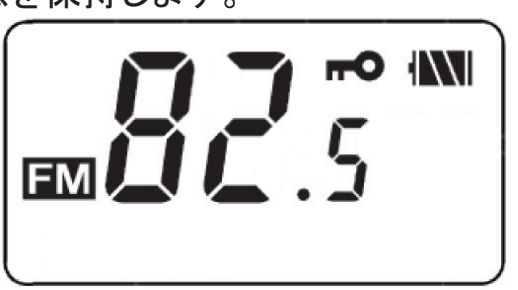
キーロック

誤操作によって設定が変更されたりしないように設定します。

1. キーロックをする場合、ロックキーを2秒以上押し続けます。



2. キーロックが有効になるとキーロック表示が点灯し、電源キー、ロックキー以外の操作が無効になります。キーロックは電源を切っても次に電源を入れた時にキーロック状態を保持します。



3. キーロック状態で再度ロックキーを2秒以上押し続けると、キーロック表示は消えてキーロックが解除されます。

操作音を消す

1. MODEキーを押して"bP"を表示します。
2. "bP.oF"を選択してロックキーを押します。

操作音が必要な場合はONに設定して下さい。

バッテリーセーブ機能

電池運用の場合、運用時間を伸ばすためにバッテリーセーブ機能を設定できます。

1. MODEキーを押して"bS"を表示します。
2. "bS.on"を選択しロックキーを押します。

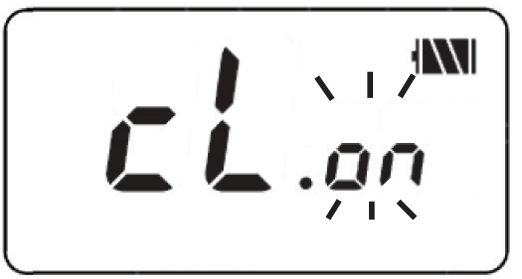
（注）

- バッテリーセーブがONの時は同報系防災行政無線の監視を間欠動作（約5秒毎）にしていますので、同報系防災行政無線の受信の立ち上がりが遅れる場合があります。
- FMラジオを聞いている時に約5秒おきにノイズが入る場合、バッテリーセーブ機能をOFFにしてご使用ください。

時計表示

監視モードで時計表示をすることができます。

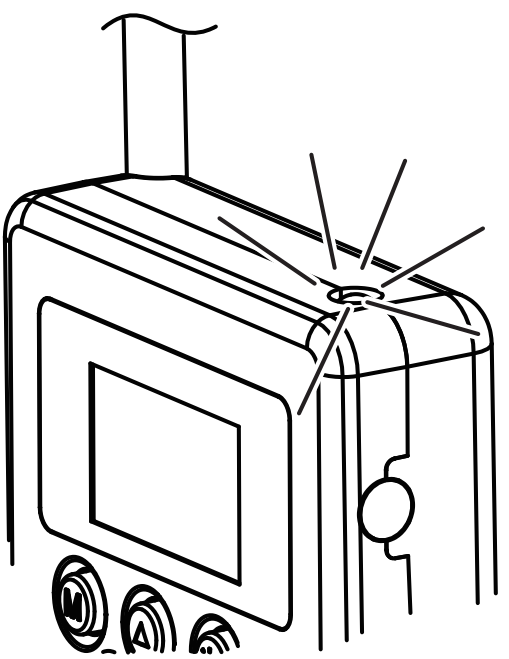
1. MODEキーを押して″cL″を表示します。
2. ″cL.on″を選択してロックキーを押します。



時計表示が不要な場合は″cL.oF″に設定して下さい。

電池残量警告

充電池で運用時、電池残量が低下すると残量警告のビープが一定時間毎に鳴り、LEDが点滅を開始します。



電池残量警告が鳴り出しだら、速やかに充電をしてください。

リセット　ー　設定を工場出荷状態に戻す

設定されている内容はすべて初期状態に戻ります。

1. 一旦電源を切る。
2. ロックキーを押したまま電源を入れる
3. UP/DOWNキーで"dF.on"を選択しMODEキーを押す

（注）
リセットを実行した場合、同報系防災行政無線、緊急警報放送、緊急地震速報を確実の受信するために、地域設定、NHK-FM局、防災行政無線の設定を再設定してください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、下記の「症状による項目確認」を点検してください。
それでも回復しない場合や動作がおかしい場合、キーを押しても反応しない場合は電池を入れ直してみてください。

症状による確認項目

症状	原因	処置
電源が入らない	・電池が消耗している	・充電をして下さい
電源が切れる	・電池が消耗している ・オートパワーオフが設定されている	・充電をして下さい ・オートパワーオフの設定を確認して下さい
受信しない 音がでない	・放送局の周波数が間違っている ・電池が消耗している	・正しく放送局を設定して下さい ・充電をして下さい
キーを押しても反応しない	・キーロックになっている ・キー操作音がオフになっている	・キーロックを解除して下さい ・キー操作音の設定を確認して下さい

おもな仕様

一般規格

周波数帯
防災同報無線---------- 68.205～69.795 MHz (15 kHz step)
FMラジオ---------- 76.0～95.0MHz (100kHz Step)

防災信号検出方式
防災同報無線---------- 指定周波数のキャリア検出
緊急地震速報---------- NHK地震速報チャイム音検出
緊急警報放送---------- ARIB標準規格BTA R-001 FSK検出

電源電圧
DC IN運用時---------- DC 5V (microUSB)
本体電池運用---------- DC 3.7V
温度範囲---------- 0℃～+50℃

消費電流
監視モード---------- 約30mA (同報無線Save時)
FMラジオモード---------- 約100mA
防災同報無線モード (待機時)---約60mA
オーディオ最大出力---------- 約300mW

寸法
(突起物含まず) 幅 60 × 高さ100 × 奥行き19.5 mm
本体重量 約86 g (電池含まず)

保証規定

保証書

- 本取扱説明書の最終ページに保証書を添付しています。保証書は必ず「お名前、ご住所、お買い上げ日、販売店名」などを記入、ご確認の上販売店より受け取ってください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。
- 修理を依頼される前に、「故障かな？と思ったら」(P29)を参照していただき、解決されないようでしたら、本機の電源を切り、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。
- 修理に出す前に、お客様が設定したデーターをお控えください。修理内容によっては、すべてのデーターが削除される場合があります。
- 本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。
- 正常な使用で故障した場合、保証書の規定に従い、お買い求めの販売店または弊社で、修理させていただきます。その際は必ず保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎましたら、お客様の希望により有料にて修理いたします。お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。

無料保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、添付ラベル等の注意書に従って正常に使用し故障した場合、無料修理させていただきます。
2. 無料修理を受ける場合、お買い求めの販売店または、弊社まで保証書を添えてご依頼ください。
3. ご転居の場合は、事前にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記載されている販売店に修理の依頼ができない場合は、弊社までご相談ください。
5. 次の場合には保証期間でも有料修理になります。
   (イ)保証書の提示がない場合。もしくは、お客様名、販売店名、お買い上げ年月日の記入が無い、もしくは字句を書き換えた場合。
   (ロ)使用上の誤りや不当な修理、調整、改造による故障およびそれが原因で生じた故障および損傷。
   (ハ)故障の原因が本機以外の製品にある場合。
   (ニ)落下、冠水などによる故障および損傷。
   (ホ)火災、地震、風水害、落雷、塩害、その他天災地変などの不慮の事故による故障および障害。
   (ヘ)製造番号の改変もしくは取り外した製品。
   (ト)消耗部品（充電池、バッテリー等）

保証は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

※この保証は本書に明記した期間、条件において無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間終了後の修理などについて、不明な点はお買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

株式会社エフ･アール･シー
〒194-0037 東京都町田市木曽西2丁目3-8
お客様相談室　042-793-7740

NEXTEC 保証書 持込修理

●お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。
●本保証書はお買い上げ日、販売店名の記入捺印の無い物は無効となります。必ず記入事項の確認を行ってください。
●本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
●本製品は持込修理とさせていただきます。

型　番	NX-W109RD	
シリアル番号		
保証期間	お買い上げ日より　１年間	
	お買い上げ日	年　　月　　日
お客様	ご住所	
	ご氏名	様
販売店	TEL 印	

株式会社　エフ・アール・シー

〒194-0037 東京都町田市木曽西2丁目3-8

お客様相談室 042-793-7746